



【発行者】

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2

TEL 082-250-0210

FAX 082-254-2464

E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

岡山県相談説明会「新在留管理制度」

6月1日(金)岡山県の帰国者を対象に「新在留管理制度」についての相談説明会を開催しました。制度の内容や手続きの仕方はパンフレットだけでは分かりにくいため、講師が要点をまとめて分かりやすく説明してくださり、帰国者たちの不安も解消されたようです。今回の講師は岡山市の職員で、岡山県と総社市、倉敷市からも帰国者担当の職員や支援者が参加され、岡山県内の行政の取り組みの活発さがうかがえ、心強く感じました。



岡山県異文化交流会



6月2日(土)岡山県の帰国者を対象に異文化交流会を開催しました。午前中は地域住民のみなさんと料理作りを楽しみました。ぜひ中華料理を作りたいと帰国者に教わりながら炒め物をする地域住民の姿が印象的でした。午後は地域包括支援センターの講師を招き、椅子に座ったままできる介護予防体操を教わりました。帰国者も地域住民も、身体が思うようにいうことをきかず、苦笑いしながらもお互い楽しんでいるようでした。後片付けも協力しあい、和気藹々とした交流会となりました。

廿日市市 オープン粘土作品展見学

6月15日(金)、センター受講生が、廿日市市内で行われたオープン粘土クラブの作品展を見学しました。この作品展は以前、オープン粘土と中国結びの手芸交流会を行ったメンバーで、先方も帰国者の顔を覚えてくださり、温かい歓迎をうけました。帰国者も流暢ではないながらも日本語で作品について質問するなど、親しく交流する姿が見られました。センター行事による交流が形を変え、新しい交流へとつながっていくことをとても嬉しく思います。



島根県社会見学会



6月16日(土)島根県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。岡山県の倉敷美観地区を散策し、美しい景色を満喫した後、藍染体験を行いました。普段出来ない貴重な体験だったので、みなさんはその独特の匂いに驚きながらも、夢中で取り組み、素敵な作品を仕上げました。出雲市、松江市、安来市の帰国者はそれぞれ普段会うことがないため、久々の再会で、談笑の絶えない交流会となりました。

中国・四国ブロック中国帰国者支援機関連絡会

7月6日(金)中国・四国ブロック内の中国帰国者担当職員を対象に中国帰国者支援機関連絡会を開催しました。意見交換会では各行政の取り組みにより、帰国者への支援の行き届き方に差があることを感じました。行政担当者から厚労省への制度改善の要望も活発に行われましたが、検討段階まで至っていない問題も多くもどかしく感じました。帰国者の高齢化も進んでいることから、早急に問題解決に取り組んでいかなければならないと思います。



中四国地域の活動報告

～中国残留邦人援護担当市町村職員等研修会～

6月22日(金)岡山県主催の市町村職員等研修会が開催され、当センターの職員も招かれました。体験発表では当センターの2世職員が自身の半生を語りました。今までは1世の体験談が多く取りあげられてきましたが、今回は2世が日本で直面する苦労や悩みをみなさんに伝えることができました。意見交換会では、1世の高齢化に伴う老人福祉施設利用時の問題点が浮き彫りとなりました。解決方法を探り、老後の安心につながる支援を充実させることが今後の課題です。



～NPO法人 虹橋の会 折鶴贈呈と太極拳披露～



7月7日(土)広島の帰国者が作るNPO法人虹橋の会が、みんなで作った折鶴を平和公園内の原爆の子の像に捧げ、太極拳の披露を行いました。虹橋の会は和紙ちぎり絵や切り絵、太極拳を中心に、芸術や文化を通して日中友好に寄与することを目的とする団体で、1世から4世まで、多くの帰国者が活動しています。平和を願う気持ちは帰国者も被爆者も同じです。参加者の思いは、当日公園を訪れた多くの観光客によって、日本中、世界中に伝わったことでしょう。

お願い

～センターからの送付物継続希望調査について～

センターでは住所を登録されている皆さまに機関誌「七色花」や交流会のお知らせなどをお送りしてまいりました。しかし、事業拡大に伴い経費節約の必要性も高まってきたことから、このたび、送付物が不要でない皆様への送付を中止させていただくこととなりました。センターからの各種送付物を引き続き希望される皆さまは、同封のハガキに必要事項を記入して、投函してください。切手を貼る必要はありません。なお、ハガキは「七色花」第30号～第32号の送付時、3回に同封しますが、1回お送りいただいた方は再度送っていただく必要はありません。ハガキ返信のない帰国者の皆さまには来年1月から各種送付を中止します。

8月・9月の予定

8月 3日 健康増進交流会

9月 22日 社会見学会

・相談説明会 [高知県]

・交流活動教室 [鳥取県]

8月 12日 異文化交流会 [広島県]

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

「私の夢は、大きなスイカをスコップで食べること!」夏になると、友達のこの言葉を思い出します。美味しいスイカを見分けるために叩く姿をよく見かけますが、これでは甘さは分からないそうです。先日テレビでは、縞模様の黒い部分がややへこんでいるもの、切り売りの場合は種の周りに空洞がある物が甘くて美味しいと紹介されていました。今年は上手に買って美味しく食べたいです。(橋本)

第31号 平成 24 年 8 月 1 日 发行
(偶数月发行/年 6 回)



【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会

〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2

TEL 082-250-0210

FAX 082-254-2464

E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

冈山县咨询说明会「新在留管理制度」

6月1日(周五)以冈山县归国者为对象举办了有关「新在留管理制度」的咨询说明会。仅靠法务省编撰的小册子还不能充分说明制度的内容和申请方法。通过讲师精要的总结和认真的说明,消解了归国者对制度转换的不安。由冈山市北区的职员担任了这次说明会的讲师,当天冈山县和总社市以及仓敷市的归国者担当职员和支援者也专程赶来参加了说明会,整个冈山县行政机关对归国者工作的积极性,让人深受鼓舞。



冈山县异文化交流会



6月2日(周六)以冈山县归国者为对象举办了异文化交流会。上午和当地的居民一起做了不少菜。其间当地居民热心的向归国者请教中国菜的做法,给人留下了深刻的印象。下午邀请地区包括支援中心的职员,向大讲授了坐着也能进行的护理预防体操。无论是归国者还是区居民虽然竭尽全力也做的不尽人意,大家一边做一边苦笑,但是每个人都非常的愉快。会后大家齐心协力,收拾整理了整个会场,气氛非常的融洽。

廿日市市 树脂粘土作品观摩会

6月15日(周五),中心的学员去参观了粘土烘焙俱乐部在廿日市市举办的作品展。以前这个俱乐部的成员曾经参加过中心举办的手工艺交流会,对方的不少成员至今还记得归国者的面容,所以对这次赶去参观作品展的归国者表示了极大的热情。以作品为话题,归国者说着不是十分流利的日语和俱乐部成员进行了交流,彼此的交往更为亲切。通过各种方式的交流来增加归国者与社会的交融机会,我们也为此感到欣慰。



岛根县社会观摩会



6月16日(周六)以岛根县归国者为对象举办了社会观摩交流会。这次带大家参观了冈山县仓敷市的美观地区,浏览了景区后,和大家体验了蓝染。平时少有这种活动机会,所以说是一次宝贵的体验。染缸的气味虽然刺鼻,但是每个人都做的非常的专注,最后完成了自己精美的作品。

参加者来自出云市、松江市、安来市,平时难得有机会见面,这次的久后相逢,令大家畅谈不已。

中国·四国地区中国归国者支援机关联系会

7月6日(周五)以中国·四国地区的中国归国者担当职员为对象举办了中国归国者支援机关联系会。通过与会者的意见互换,让人感到了随着行政机关的对应温差,所在地区归国者所接受的支援也多少有差别。会上行政机关向厚生劳动省也提出了不少关于制度以待改善之处,但是得出的结论是还未到探讨对策的阶段,因此让人深感焦虑。伴随者归国者的高龄化,出现的问题应该及早着手解决。



中四国地区活动汇报 ~中国残留邦人援护担当市町村职员等研修会~

6月22日(周五)中心工作人员被邀请参加了由冈山县主办的市町村职员等研修会。由归国者2代中心职员就自身的实际经历发表了体验谈。以往介绍的内容以归国者1代为中心的话题较多,这次通过介绍2代来日后所面对的各种困难和苦恼,使与会者对此有了进一步的认识。在意见交流会上,伴随1代高龄化,在利用老人福祉设施时所产生的问题较为注目。如何解决这一问题,让归国者可以安心度过晚年,是今后的重要课题。



~NPO法人 虹桥之会 赠送纸鹤以及表演太极拳~



7月7日(周六)广岛归国者组建的NPO法人虹桥之会的成员来到广岛市和平公园,在原爆之子的塑像前献上了大家亲手叠制的纸鹤,并且表演了太极拳。虹桥之会通过和纸撕纸画、剪纸、太极拳这些艺术文化活动来推广日中友好为目的,众多的成员来自归国者1代到4代,范围广阔。和原子弹爆炸受害者同样,归国者也期盼着世界永远和平。希望通过这样的活动将归国者的心愿,以当天到访和平公园的游客为媒介,广泛传达到全日本以及全世界。

恳请大家协助

~关于希望继续收取中心邮件的意向调查~

中心对凡是进行了住所登录的归国者定期邮送着「七色花」以及各种交流会的通知。但是伴随工作范畴的扩大,节省经费支出的必要性也随之提高。借此机会,根据本人的希望来决定今后是否继续发送有关中心的各种邮件。为此请各位务必配合本中心的这次调查。今后仍然继续希望收取来自中心的各种邮件的人,请您务必填写随信一同寄去的明信片上的必要事项,再寄回给中心。寄回中心用的明信片上不用贴邮票。本中心计划伴随第30号~第32号「七色花」的发送,计3次向大家邮寄意向调查明信片。已经向中心返回明信片的人不必再度邮寄。在此期间没有向中心返还明信片者从明年1月起将不再向您邮寄中心的各种邮件。

8月·9月预定

8月 3日 促进健康交流会
· 咨询说明会〔高知县〕
8月 12日 异文化交流会〔广岛县〕

9月 22日 社会观摩会
· 交流活动教室〔鸟取县〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,通过邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

「我的梦想是用小铲子吃大西瓜!」每到夏天,我就会想起朋友的这句话。经常看到有人敲一敲西瓜通过声音来判断西瓜是否成熟,可是这种方法无法判断西瓜的甜度。前两天电视上介绍,如果西瓜皮上的黑色纹样稍微有一点凹下去的话有可能甜度较高,特别是买切好的西瓜时,如果瓜子的周围呈空洞时证明比较甜。希望今年能买到好瓜吃的香甜。

(桥本)